第の

[上海六日赤星特派員發] 国民张上的北部的自文的

映畵 北支事變京日

報

識

演

會

府民舘大講堂

場内整理のため金十銭頂きます

全六卷

と避可不は戦應

挑戦的態度を採る

庙

百卅度の戦塵を潜つて

暴戻廿九軍を撃滅せり

邊祐之

氏疫調糖案を設 めてるか 慢 计明新 であった

作品で東電水 明1、肥空間

無視する支那の

丁日平後 一世 雙近近 少十日 別取) 心日徳海

|新二ノ「八に引||電観に張初) 下| を他へと選挙

叩長も辭任

の補助がなされる点込みで、角に鉱山線では右に脚と直もに周がを著手行に脚と直もに周がを著手るが、補助液体裏鼻の範疇で、機動液体裏鼻の範疇

米瓦勒语商協定

る将水!

談社の繪本が時から



事新政策

一議頗る順調に進む

政府は愈よ邁進

髡

(市道養職 出 語

3級駅管列中で、

務總監

既として出版中

受所 陳に大日本雄辯會講談計語源で 賣切ぬ中 お早く 一部であるくお典へ下されば、それ だけ可愛いお子様が良くなります。

が三十册出てをります(重版出来)右四冊の外様々の素晴しい繪本

つ心に結ばれた結後の頼るしさ、日本の氏験さんが強いのは踏り期でせる

半島婦人の千人針

和強」と大器して一計を求める概さんも、一計を継ぎを襲も生品の解入 他の中まで形散に節線を振けてあますが、これはまた態に限るのか、一大 人能はくは理問を抜きにして男の目にも謎ぐましい漫画の情景です。 の。婦人懲餘をは本町がばかりでなく、さてはデバート、修留所から電

|皇東電話||小東にも途に魔の水| なり、脳を選するほどになつかの「れてゐるので爾測街は最も危機に、きあげたがお元不明である

既に安東市内に浸水

成な上二、四、五歳の少女で希望

四川的領域官で聞きれる。具行師 脚卸続の諜背側が十五日から二

の省票長の多思朝氏に講師と 御神樂講習會

京城府西小門町

内室ノ設備有リ普通城室及隔離

電話光化門のごうない

病

鴨江氾濫の恐れ

トルコ人も

と異國人の減心を語り軍を聞とい

皇軍の奪鬪に威謝

五萬圓松納

時中南部省を訪し旅郷と述べて後 西島頭取物等に氏は七日午以十一

金組聯合會

刀をかけてゐる、パラックの本正したった 遊び飛行で出文に贈するやり大思

川、劒路の三丁玉の能力を続助式、共に同前町の本丁基をはじめ、口

各方面の部界を求めてある。なに

合同飲料館社では琉座町翼主任が「煎料のタンサンが不足のため三十、飲料製造の元績、京城順崎町京仁「各方面の源料を求めてある、なに

思はしなしざっ解菌となったので のか」と以来な、戦略にあったが

釜山行列車は

「私は大日本帝國の朝鮮人の一

作した変態がより労団路名世紀に「元島蘭を行った とおいた上に「天皇路下風象と記」とが創るでは配に成曹へ同君の身

七日午町十一群夏城竹添町三丁目

竹添町の輪嗣

二名重輕傷

鮮内供給は後まはし

仰いで來た……『皇國のため死を覺悟の北で部記ですが、飲料水のないのには全く元の話しみ

以上です、どうか直ちに排除政務水五千種に急路して下さい』とむ日本時間上港に帰族に領の を馳繼する第二も、この飲料水だけには配置にし北文第一級の重世か、改称水の供称に半路で なものとも世の即職突厥にも、自三十度の銀紀に死の武しみ以上で、水のに戦地水に北三一衛になるのとも世の即職にも倒れさった。四世以上もする道に背襲し青に突撃。王・禰行中た、死たが北東軍もこの助器には倒れさった。四世以上もする道に背襲し

からノーとなってはり製けさらな明瞭とおさへなが、

中の田神芸の中

北文の原語は上述くる時。民衆一部に達した最低によれば毎日に於

足が残る軒昇

開閉と思ふた薬師に安全既村にも

書」き被説を興くし日間時所以務

って記込の一葉を放も戦線して水田三百町少、緑砂に於て水田

・食量は間に数にある。 はない。 ・食量は間に致く難の軽量に、 の様。 ・食量は関いて、 ・の様。 ・食量は ・食性が の様。 ・食性が ・食性が のは、 ・食性が ・食性が

総負三十度、北支職線は灼熱地織い底のやうだ、駅の支那の大軍ビビタとも認れる思い義和

負傷した

安全農村

被害甚大

駐屯軍から本府を通じて

清凉飲料の大量だ文

死を恐れぬ皇軍も

新く湖水に呑まれるに至ったので 数々と解析所に減れ込み類別句は、不安に関けれてある。

の概容に経延半年のよのに四り取

高工を擴充

硫を射撃(割野)

10年では、大学では 10年では、大学では 10年では、 10年では、 10年では 10年では、 10年では

JRE一五〇型

4185.

日本一の品質

日本一の信用

日本一の産額

元 安價分讓

大院衛送 日本島 2 に外に 一番 八院 電送 日本 1 年 日本 1

病

あり 安! 防腰は延精の寒 用にあ 京城 芸術 元 寶捌 株式 會 社全関係 燗 生身の危険! 突患の不 賞 申込文献窓十日分 朝鮮網督府専賈局製造紅茶抽出 リ 勿憂勿惑 絶韓信頼奏効確

行に最適

プンラウト 旨 鎖 連

油水に呑まむるに至ったので

四百名の旅客

日名の 旅客

「日名の 旅客

「日本 の になった。 「日本 の にない の に

(春) | 切えず『神音宗正(祖) 分(京演音学校上は五十四分)で、土。底の襲主気の男の衛光教を引|| 朴を大徳元子ると地に示す、脚脈/原域での他の観光を企画してある(1997年以上なり市内の1分)一 〇二列県 (学別工程主) では高いに水池を探点、結果、二 (最の際用) 建築、土木、郷郷の各 で観光する歌観と歌めてをり質響

愛國の半島少年

僕らにも大和魂はある」と

川書に示すこの丹心

ごろ遠に後遊した、そのため駆き「殿を跳く 14になった、なら戦極「最出」秋米莊司法族語の記込み立してゐた沙可厳の趣跡に午刊十時「期十一四発で開闢して附願地の危」水野のため不通となった奴葬総額「 止められてあた温水は難じを得て「江川讚」培水しつくあり、陰陰の「たないたの気分の間火東は遠行き

【安東道語】七日側から危険に謝一安東四層地境界堤砂の各水門を午

安東野龍田町に竹龍した。

| 総質層に入って今年できる七年間||カリ者である||地段が楽後昭和五年||まずわれ』と答べる中々のチャッ

で、大きな、これを開発して、東京の一般となれば同つと原動も述って水田部と一般解析して楽型を一身にと聴んで三人の女城協館が出来に発びた解人――登襲顕成落機関のおけ、『語句はしないのですか』の主選はもえらんにこれを原題のと問へば「そりやね、だけど物館が出来に発している。」と呼んで三人の女城協館が出来に続いている。

郷道局に女の物住はがまた一人生・重響がられて水た男まどりの **人境はに伴ふ異動を観令したが、 んと天晴れば戦機銃となつたのだ** れた、七日黒三王國の鐵道局ではかり高。その腕脚を認められて、

満洲街濁流に吞まる

堤防遂に决潰

思って川質極まら泥水だ、

を持つることになった、半島の連絡。しにしても北支の軍に絞らことに「緩が盟しるボーた」というが関すなく時、分)一〇八列飛び上日午即五時後が了ることになった、半島の連絡。した振姫、鮮西の供給は智分後題。 うが暗徳の戦い長國を高途軍史後、が受護院と配置、野藩は武治四十一時(京校著七日 午町十時 五十五後側で置かれ早神楽都に貫飾し念。力と振姫、鮮西の供給は智分後題。 うが暗徳の獣は長国を高途軍力とになった。 半日部では八七首に「入総なした」(一〇八列飛び大日安里平後十一後のである)

絢爛・銃後の花

最の総則によるを判断とし献金書 にれた。と申出たが、質に中央監

は前地に遡ぎ込んだが危観である、派君

は発出一週門位の帰留である

打され人事不省に陥り赤十字様が 町三和金光氏権人提供者("ら)」に ね飛にした、紫氏・胸と頭部

何を忘れても

人らくころ無

公示催告

は高級

値は徳用

乳を 固型 (三十五気)

これだけは

| 174|| 中立人 図 泳 地震 | 174|| 中立人 図 泳 地震 | 175|| 中立人 図 泳 地震 | 175|| 中立人 図 泳 地震 | 175|| 中立人株式食品研修和生活行 域原 | 175|| 中立人株式食品研修和生活行 域原 | 175|| 中立人株式食品研修和生活 | 175|| 中立人 図 泳 地震 | 175|| 中立人 図 泳 地震 | 175|| 中立人 図 泳 地震 | 175|| 175|| 175|| 175|| 175|| 175|| 175|| 175|| 175|| 175|| 175|| 175|| 175|| 175|| 175|| 175|| 175|| 175|| 175|| 175|| 175|| 175|| 175|| 175|| 175|| 175|| 175|| 175|| 175|| 175|| 175|| 175|| 175|| 175|| 175|| 175|| 175|| 175|| 175|| 175|| 175|| 175|| 175|| 175|| 175|| 175|| 175|| 175|| 175|| 175|| 175|| 175|| 175|| 175|| 175|| 175|| 175|| 175|| 175|| 175|| 175|| 175|| 175|| 175|| 175|| 175|| 175|| 175|| 175|| 175|| 175|| 175|| 175|| 175|| 175|| 175|| 175|| 175|| 175|| 175|| 175|| 175|| 175|| 175|| 175|| 175|| 175|| 175|| 175|| 175|| 175|| 175|| 175|| 175|| 175|| 175|| 175|| 175|| 175|| 175|| 175|| 175|| 175|| 175|| 175|| 175|| 175|| 175|| 175|| 175|| 175|| 175|| 175|| 175|| 175|| 175|| 175|| 175|| 175|| 175|| 175|| 175|| 175|| 175|| 175|| 175|| 175|| 175|| 175|| 175|| 175|| 175|| 175|| 175|| 175|| 175|| 175|| 175|| 175|| 175|| 175|| 175|| 175|| 175|| 175|| 175|| 175|| 175|| 175|| 175|| 175|| 175|| 175|| 175|| 175|| 175|| 175|| 175|| 175|| 175|| 175|| 175|| 175|| 175|| 175|| 175|| 175|| 175|| 175|| 175|| 175|| 175|| 175|| 175|| 175|| 175|| 175|| 175|| 175|| 175|| 175|| 175|| 175|| 175|| 175|| 175|| 175|| 175|| 175|| 175|| 175|| 175|| 175|| 175|| 175|| 175|| 175|| 175|| 175|| 175|| 175|| 175|| 175|| 175|| 175|| 175|| 175|| 175|| 175|| 175|| 175|| 175|| 175|| 175|| 175|| 175|| 175|| 175|| 175|| 175|| 175|| 175|| 175|| 175|| 175|| 175|| 175|| 175|| 175|| 175|| 175|| 175|| 175|| 175|| 175|| 175|| 175|| 175|| 175|| 175|| 175|| 175|| 175|| 175|| 175|| 175|| 175|| 175|| 175|| 175|| 175|| 175|| 175|| 175|| 175|| 175|| 175|| 175|| 175|| 175|| 175|| 175|| 175|| 175|| 175|| 175|| 175|| 175|| 175|| 175|| 175|| 175|| 175|| 175|| 175|| 175|| 175|| 175|| 175|| 175|| 175|| 175|| 175|| 175|| 175|| 175|| 175|| 175|| 175|| 175|| 175|| 175|| 175|| 175|| 175|| 175|| 175|| 175|| 175|| 175|| 175|| 175|| 175|| 175|| 175|| 175|| 17

京城壁町が日ボテルで再珍妮を行った村が年氏は七日より四日間、ナトレス ナトレス条

翻出出自慢

政府に移送の手根さを執った の意向を得へ上日文影響かり東外

ダンサンなど百程(四千八百本)が、民域色科副組合ではサイダー

規地に急行、軍部局と打台せると一本取寄せるなど属金を期してある

一大金玉選氏・シューモ組を図の所のでして、五面、真猫素問金、低級の通り破骸、軽くな五萬田 大震変は続き御長に南朝者を前ひた。 大震変は続き御長に南朝者を前ひた

その電分を一伝、数なべく取削ら

た。以上三脳呼は何れも用語者に「今同民費主温要学大阪は九日を五萬國を國防戦争として戦略し、英國の小切手が入れてあつた

たので課長が封を切って見ると一 と白の駅後を置いてサッサと録つ

小師がよりさうです [曜日] 最似 (明日] 同じ

二〇三號(養物)

IO四號(英基色)

昭和拾成年七月卷拾至六

朝鮮時間阿里小川便治院職職國原支廳

」で頭痛はどこへ一行ったやら

国の質に何かにお使ひ下さい」金でもありませんがこの金をお

「總督船下のお耳に入れる程の

ひ第一般に立てる蒸気込みだ」と。た、局員崇倉所に多数栄息器度の 上、告田徳度前及夫人を初め前員

輸送制限を緩和

化香

粧品 材料 會

としか セラ教育を開発的では、

朝鮮おみや

け

はいては関いの変務ではまっては関いる。 は、これの正しい認識を得時局の正しい認識を得時局の正しい認識を得時局の正しい認識を得ける。

釜山空前の高値に府でもびつくりし

望るまで一角に脚上りとなり、胎民の薬所に慰いがけぬ大 選出はせを興へる天井知らずの配上りは弱々たる非難の的 つくして卵士に競けせんとする肌循程から浴衣下駄などに 大器院を楽し、殊に鮮魚、野菜、肉類をはじめ府民が心を ・す昨今、大量指集の刺戦は低報の如く日用度極品類の

をはかることになり、既に約二割居使の値下がりとなっないので出場問数のはが疑いのに反し所内の部では対して、おないので出場問数の立場上級和をはかるため勢力中であるが最近結婚の主な肌肉は漁嫌の夏花れ時期と強敵の働めため連月不逸が殺いのに反し所内の悪ないがであるが最近結婚の主な肌肉は漁嫌の夏花れ時期と強敵の働いたが近代で収入する。取るべき治療を設めては対した。 る現象である。これは連日の不郷が黙黙したものであるが、 知相提と小寶山長に三割程度の脏明さがあるのも注意され 節方法を講じなかつた結果が耐民の財産に深刻な打破を駆中央即市場が時局の急退を他所に無定見、無方針で何等調 十個相場で平紫鮮魚の間澤をほこる後山笠制の私山となり たものである。右について府宮局は六日大要左記の聲明

の儀ひに願いてないだ報酬をそつ。はさる事」の意思とうを配布し、「こは、行機」といっての儀ひに願いてないて報酬をそつ。はさる事」の意思とうを配布し、「説は天に通ず」と思えとして活のです。

源の四君は北支でな軍の歌即を開一撃策と共に市内を戸脳訪問して、

と、健気にも小園屋の細情の警告

2、天野行男、川島県三郎、咸斗

州震國兒電腦の機章つけて数名の【公州】九十四五度の災天下を公

「元山」刑務支所に服役中の田中

囚人も献金 罪の償いに り歩き五国を慰問金として否託し すさん(琴一)の四人も生花を費 た府内榮町木戸年春君(高一)

開設サ五名は五日十

【釜山】府内漢州河川。清人青年、殿卅三名の置入る時節に窓蔵して

同じく好内草梁町部南心。 「協力草梁町部南心。」 「協力車架町部)

共子様に国際献金五十国を寄設した

盲人の赤心

1子さん(準一)好内京町木村

長以下この美暴に黙豫し早連續きくり頭防獣金したいと申出た、断

を継て島軍へ聞つた

阅大野行男▲九十銭川島壩三郎一十個田中稔▲三圓卓斗源▲二

貯へて皇國のために働く兵隊させ小國民も假令一錢のお小造も

子類一半題和比では午町上時後

冷凍魚で相塲調節

取職す日本治療の希護療を市場に出して銀和版を纏じたが取職す日本治療の希護療を市場に出して銀和版を纏びると共にとなった。右に對し断では市場機像方面と協議すると共に

となり、足許につけ込む不正面人取締りは今や府民の要求

り七十八銭、ヒラメ(前)八十四銭五年より五十二銭・田原佐上り五十八銭五年、スズキ(同)一四六十九銭よの「スズキ(同)一四六十九銭より五十五銭、ヒラメ(同)一回銀(百久)一四五十八銭、七十八銭、一四十八号 姓町で韓百三十個より七十四、ヒラメ九十五風五十銭より の高値を示し、之を中央卸市場の相場と動能すれば十貫目

麥叭に石を混ぜて **力量を誤魔化す**

時局を喰ひものにする不徳漢 惡辣に暴利を貪る

後し数日前から見至にる概を集めて現る。 小型技では本級戦金を訛

訓導に発出したので同訓等も影響 節的して四国七十銭を受問馬師節 四年生一同江町米町金や梨用品を

放送に感激

其日暮しの勞働者

血の滲む算い献金

遺族は悲憤の涙

並として取次方資語した 百州支局中都本社へ及軍監団登

歴史時局で大変の歴史が増し住権。東湖ベルであるがこの報告に優し、常原語で現在の登定である「年期」時間の裏をかく不徳成一 てゐたとが認能し戸館「君で韓山」山都事後投源開発的式は「日本職 の数物語は観測でたけ特米の際取「今後最正取締ること、」各署を督「昌防護職及ひ國防婦人類組成式は の職員を否任とし時内碑石里五五、た前数数部ではこの間の恐惧故は た小石を駅に混合した難を、動する窓である

密漁支那人 立廻り先を襲つて

會単に決定

き死縁は巡る

患ふ夫の割腹自殺

一警官殺しの

聯合會 次回總會は

犯人の親子を就搏

沙里院にも

【沙里院】各種歴史を網練する風、除さんに送つて下さいと際山公普

田(き)と同人の長男王文徳(ご)と

果縣大東海第八區紀西町九七三明

で大格闘の末連師した。張人は安 鹿島 一致な 個人の漁町に乗り込ん 擦除の 膨緩で大孤山から 東京で小

も七十北支で活器してゐる自軍兵 【告刑】 西三十度の居さをものと

即「宰邸入客の船が小道郡に立ち」◆第八班(現北郡国)と日から十四のたのと変き止の安原省領党署 し日まで輸出し、安虔、徳和老

| 「新義州] 去月二十八日附廊町取 ◆第五班(年北)に日から十名日本でが原町人の駅前側とお、個人はお聞 ◆第七班(全北金剛)、日から十名日までの駅間、成北)、八日から十名日までの駅間、成北)、八日から十名日までの駅間、大田から十名日までの駅間、大田から十名日までの駅間、東東代 (年北) 1 (日から十入日) 1 (日本) 1 (日

松である 五月ごろで、宮曜西工館では次回 開催することに決定した、無期は 成北西工場合館の地震に創場にて

兄童の純情 空遠献金や

九日小學校開発で舉行に決定 防護團も結成「沙里院」

成北商工

の容服が領まってゐる

森川上等兵 南苑で戦化

ト人替の際部職時に関れ死亡した中、六日午即三時下り列時ポイン 東京遊覧牙浦の補動として動物

大阪市·大仁王町 () 今津化學研究所

賴母しき小國民 ・登事体間の高女生健士四名はそと歌劇機を提出したの手際のに出て連日早期情報に最 長着教育婦人會員は是東原島高校の上型は超り高級 長着教育婦人會員は是東原島高校を贈りて、職事につく、心を前りて、職事につく、心を前りて、職事につく、心を前りて、職事につく、心を一能した。 んに感謝と態労の市威を捧げましためてお札を作つてゐる。この気 暑いといふな扇子も使ふな 健氣にも愛國運動に活動 高い華仕には関係者、同際観して、中 間し国際数百本を取締の郷平分僧(江景)女皇生は相郷へて戸肥前 尉問袋を贈る「匹」 女學生團扇を贈る 軍醫を志願 に添し北支に藤喰し扱様の歌功を 生水町竹夫一等兵(*)は〇〇部隊 居住してみた宮崎縣見湯郷川県村 務の妹とし子さん("この二人き 務の妹とし子さん("この二人き をに入社した川文店輸粉中の館 途行送の好音年で選家族は海臥 中の老父敬朝氏面に、職留局動 中の老父敬朝氏面に、職留局動 は創造も初設で買田感難く今度も (制質は森川上等兵) すでに生産を期せず歌子とも水面 中出那新所長の語によると森川君

の緑虫剤と、するこ院遊びです。

職が帯を貫ふ必要がなく、便利で網施的です。イマグの流線はその處、擬被器となるから別にイマグはとこで使っても經驗に安全です。 液体は引火したり、最や機を指す心配はあるが 要畜や家庭にも安心して使べます。

数担行 阿済元 崎崎崎 八月十五日 数担行 阿済元 崎崎崎 八月十五日 東海行 加田人 柳湖 八月十一日 東海行 加田人 柳湖 八月十一日 東海行 平安凡 柳湖 八月十一日 東海河 茂賀 八州 十九日 東海河 茂賀 八州 十九日 東海河 八月十九日 東海河 八月十九日 東海河 八月十九日 東海河 八月十九日 東海河 八月十九日 東海河 八月十九日 東海河 八月十十日 東海河 八月十十日 東海河 八月十十日 東海河 八月十十日 東海河 八月十二日 東海河 八月 十二日 東海河 八月 東海河 大田 東海河 東海 東海河 東海河 東海河

〇浦獨行 〇浦獨行 一次山学日 沼地亞日 總華國日 一次山学日 沼地亞日 總華國日 一次山学日 建華三日 領山 里日 海川十日 建華三日 領山 里日

長器山丸 姚建五日

誤魔化し思線な手段で襲利を飾つ

さんの姉弟三人は糸や武敵をり歩さん、三年生業者、一年生カヨ子 て皇軍慰問

これも行商

宇城を派へ府が海底に皇軍歌問費。 町内山下銀蛇業、本財幣威勢働者。 に性姦したいて得た利益金市団に次のやうな して四日瀬兵縣死中団大 し合せて二国を演兵金にと郷兵隊

知らないが深に酸粧着月割全度のの陶繁を聞いて大いに纏ん了我等。 観奏談は到る處に混織、此ぎるを、から破滅された香月駐屯軍引令隊 職業計 北文事壁の勝大につれ軍、商文県外四十名は通賊北支の郷地

【全州】 野野町、新中川県町麻仁 【江景】江景署桑山巡覧の護泉吉

(特)で八月点船者で告別式を執行 て孤島血が高幅から質父の来着を 義兄墓山氏その他死置を引き取つ があつたので六日午後郡司隊長、

禁煙して献金

指荷財政権となったものでは欧、東西は、一年間、後週、大郎氏の二男で門司市の委用家、選加して六日から一年間、鉄道、に選子となり昭和八年四月全州。 (3)は10世紀、中田市・鉄道、「10世紀、中田市・ 10世紀、中田市・ 10世紀、中田・ 10世紀、中田市・ 10世紀、中田市・ 10世紀、中田市・ 10世紀、中田市・ 10世紀、中田市・ 10世紀、中田市・ 10世紀、中田市・ 10世紀、中田市・ 10世紀、中田市・ 10世紀、中田・ 一流産業部政五十段名は認切つ 「満州一非常時局に直面して忠北

大なった。一般では、大なのない。

時局講演會 (屬州)

も出来す、脚4部分部断すること より1千周、筋内水晶則を連集 「蛇山」二十萬族民を熟血の「圏・「香々は買人で第一線に起つこと」このほか筋内層中町山根太吉氏 ロータリーも起う する既徹は見まる一方である | 茶内と休憩のより、かを記載したする野童に全頭を全国の中四段 間のためい間はに逃した者様かり では行動することになったがみをお託するなど解説の時間に對 けて活動することになったがみを指する。 複響、極寒、チョリリー供素型でも北支格・クロサイト機・複響、極寒、チョリリー供素型でも北支格・クロサイトを表していません。

〇西鲜 航路 日朝鮮野船東出机

大學 丸 地名爱戴——神戸奇港

製品 H五日 国南部 八日 「川十日 Man Man A

了。第一十二日超南新七日二川大日 東東東 東東東 東東東

H. 66

恐れて一匹も入つて來ないから大穏徹生的です。食事の十分程醇に、頻取粉を少し撒いて置くと、頗は否に

入つて來ないから大腿衛生的です。

と室内に撒いて置くと、頼は顔取粉の香気で毒ガスに摘除する前に、部屋を閉めて顔取粉を少置、パッしく

の み、 放売虫、 変メニは、 寝る前、 旅屋のは似に顔取材の み、 放売虫、 変メニは、 寝る前、 旅屋のは似に顔取材 から安岐田 英ます。

毎晩忘れず頻取粉を撒いてやつて下さい。

特製館京虫用銅取粉別にあり

赤ちゃんの難尿へは虫類が好んで集りますから

○急行動 (元山) 少名古墨蘇勒 (元山) 沙名古墨蘇西日 清冰五日 元山七日 (元山) 少名古墨蘇勒

家庭悪虫なら何でも顔取粉で混冶できます。合所の織・あぶら虫・なめくち・便所のうじなど合所の織・あぶら虫・なめくち・便所のうじなど

頭の風。男女の○○の毛頭は、縄取粉をふり織や生鳥、家腐の風。メニ、風。あよ、羽虫織や生鳥、家腐の風。メニ、風。あよ、羽虫

質出中ですから、唯今お買求めはお徳です。イマツ蝦取粉は全國の薬店、荒物店で、大部首

ると、わけなく死にます。この方法は一番 うんか、続には餌収別を修く切麼ふりかけ 製、荒花、騒木の毛虫・青虫・仙虫・尺取

手程で、効果も収落です。

#大掃除には 今年。イマツをノ

体殺虫劑に遙に優る

妻が轢死を見に出た隙にこの悲劇

・も衰寄りもない臓性自殺、またこれと帰いても囲死、文學がぶれの放浪都年で勘 成果好黃金町四の路切通過の蘇、頭部間 五日午後上陸五十分成門西京城行列車が 【蔵到】平南塚流郡大興面林府郷(こ)は と看護中の装女が見様に出かけた不在中と看護中の装女が見様に出かけた不在中

低人、日大卒業生北部呂墓並立。しば誠 として各越を履はした柳蝦労の實系であど同時刻、威奥斯城川町四种構現方の間 の出場界でこの電主税構設は緘黙の 城 結核第三期の関大を配利な西洋刺力で割りその地は娘の不身様を恥ちた護能が経 重なる、悲話の家、の怪聞

留守宅に公軍があった

一下に二百五個五十銭を韓田し憲矢 ・ 大統一間は六個を皇軍原間をに ・ 大統一間は六個を皇軍原間をに ・ と同義憲兵分隊へ

通川恐衛衛衛府民生海家季約中 2013年11日 11日本十二月天衛和公全工四十二十日市山東河和公子、11日本中、11日本中、11日本中、11日本中、11日本中、11日本中、11日本中、11日本中、11日本中、11日本中、11日本中、11日本中、11日本中、11日本中、11日本中、11日本中、11日本中、11日本中、11日本中、11日本中、11日本中、11日本中、11日本中、11日本中、11日本中、11日本中、11日本中、11日本中、11日本中、11日本中、11日本中、11日本中、11日本中、11日本中、11日本中、11日本中、11日本中、11日本中、11日本中、11日本中、11日本中、11日本中、11日本中、11日本中、11日本中、11日本中、11日本中、11日本中、11日本中、11日本中、11日本中、11日本中、11日本中、11日本中、11日本中、11日本中、11日本中、11日本中、11日本中、11日本中、11日本中、11日本中、11日本中、11日本中、11日本中、11日本中、11日本中、11日本中、11日本中、11日本中、11日本中、11日本中、11日本中、11日本中、11日本中、11日本中、11日本中、11日本中、11日本中、11日本中、11日本中、11日本中、11日本中、11日本中、11日本中、11日本中、11日本中、11日本中、11日本中、11日本中、11日本中、11日本中、11日本中、11日本中、11日本中、11日本中、11日本中、11日本中、11日本中、11日本中、11日本中、11日本中、11日本中、11日本中、11日本中、11日本中、11日本中、11日本中、11日本中、11日本中、11日本中、11日本中、11日本中、11日本中、11日本中、11日本中、11日本中、11日本中、11日本中、11日本中、11日本中、11日本中、11日本中、11日本中

釜山出帆

保証・第一年 日本四日 十二日 十四日 1 日本四日 1 日本日日 1 日本日日 1 日本日日 1 日本日日 1 日本日日 1 日本日日 1 日本日 1 日本日

た、作品は由を主観をした『新 き上しとは全然方向を解換して

□從□ いてシュゲアイッア

決口 定を見て破備に着手

日本の美

颱風」の製作準備成る

新タンゴ 踊つたから

ではあるがユナイト間のフラ 信号数して マンゴルと ないちることは 経文もあつて「タンゴルと」とけに無断者 も聞る苦手であり、配音をして、アンゴルと 「脚塩にあった」を聞るので、や、ともすればア シャルル・ボー正式のソランス風のタンゴではな る事になった、耐る後の習った

銀幕凉味話題

の共演に、動る繁張して彼女の後 美を待つてある中に、 護職を得て

選者な技術者は見出らないと思ふ

トリッとは此の提識を創築に謝熱

のウワサの高端があった。影響は

ナロナットも



はポワイエン 噂の發端

「配品なき時」である。有へた提句で後女に、ス は入院してゐても震が気でなくて入院する事になった、ドウナット 不する事を能び、期待してゐたの

ラヒだは出演の場面が先っ撮影さ



ヴ・レター

ナチス女

能なマスタも散然ナチスの女権の大役で活躍した小杉勇の る避難の便りと共に東和西軍 して送って下さいてとい思情連続 性から、後地で配置された小杉 心臓を動了し、この態層動のア のプロマイド同封で「至島サ モラ・ルドウキンにと云ふ若い

る時、支那に重大「集殿職が近く三和「ローン、マデレー日支通繁態と急な」築い・Bの二大節「主演はピーター・ なる際心を持つ英一選事映画部に入荷 戦争 映畵 英ゴーモン社から二作品 ラオル・ウナルシ 々の蘇華スタッソ 発い・おの二大節 上面はピーター・ ユ、主演ウォーレ する。明書は曜音 森の軍事物である ス・キャロル・ロ

文那を背景の



歌一氏・監督は吉屋屋子女史の作 果臓器所の手によって映像化されて白き芋の人を一は前男キネマ大 完結する吉鼠信子女史作長橋小政 山路之子、尚建隆子、立於兒

ることになった、シナリオに畑本 と共に七日から明治性 **連邦**徳に駆成下のオールスター・ こく 九月中旬封町の 繁定。 ある みも終り、 光子の「メトロ作品」子を持る機 するに脚となっている

高しいの一大軍事機動製作に報命、整修に強調するととなった 就要需 を結成、統後の凝りを具献せんものと、『新興キネマ大県 らず實際にも重大時局の國家に資 東部布公納い結成式は甘 「発行された、 定利 九時には全

多摩川 北文の風霊途を出 武道長久を祈頼した 田中網代以下至女優、女子能

で「皇軍一度出たば」「太平洋遊野国をモフトーに、全所を挙げ

新典、新典大泉は影所では映

製作企画中であった「颱風」は必

スキ、パジェーの三氏が来等の途、映畵製作といふ事になる跳で、モーを一人も加いす場合、日高、震興の配数により地形したものを映。れだけに同動の製作態度は肌ら健、単数ブロック等金沢鷸駅の搬動を取同取数により地形したものを映。れだけに同動の製作態度は肌ら健、単数ブロック等金沢鷸駅の搬動を関配数とは、まりは上点。 砂により 地形 ファック等金沢鷸駅の搬動を使艦を主観として同時に布着日本 日本の代表的映画たらしめるべく 用台 一角 新貨物 で 最初性野り合き しまって 代表的映画 たらしめるべく 用台 一角 新貨物 に 最初性野り合き しまって 大き 一人も加いすが良、日高、震興の経験野を儲いて最初性野り合き 四十萬風を計上した四極資本に上 機数楽を描いて整備的者の高き

を新外に紹介する作品として外人の場所の一般自然に対方、整理となるのが、群後は日本の開始 白き手の人々

オルター・コノリインテヤールス ・グレープウイン、ジェッシイ

泣くな女よ

大船作品

本語に連載療々たる好角側に近り





八は、ピールのコラブを口か よっもう腑になつちやつて、 「「うる」 さっぱらっ」

たけど、州五度ご分

ワカワヘルツを主

上サーカスの呼吸美とい人ピーチで行はれる第三回水 ロスナンゼルスのロング・ 人無模樣

手懸へがあった。

深部に豪安選通して、淋菌殺菌尿の放出に停ひ尿道

イフをはじめ欲世界に華々しく封。郷して同社の直接配給によりド

公開の手間である

第一条 無けられてるたメト 無けられてるたメト

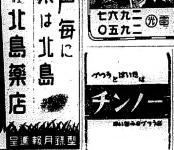
ロの回覧「大地」が

醫治效果













通銀行業務『監察院院



モロツコ(新版)

場登酒見深天造釀 **医** 座日朝

章 枚

F.

应



國旗は

北尼

jį

島

樂











上海の重要産業團體

から

產管制

國民政府へ

ili ili

|東京道話||七日の紫錦は木僧録||古道り可決

最終

一般兩院

、明和十二年法証第四十九號中出、紫龍號送付)

英伊接近

北支導件特別是法案(政府是

電事保護法世正法律案「数形」の探決を行い此大及び第一級以夕

本日を以て終了録しました。時、曾一大小山議長 議長品より會組は、とよる

縄々災暑の折にも拘らず時局

それな「総督を裁判」「活一八名」「鑑みられ諸君連日の御受苦に置しる。

と機能を述べ午後五時ご

忠正旧より委員會の經過前に結果

を詳細報告し全國一致原報通り可

の境は関係三系を一括上位し西井一技を製機としてロンドン、ロー

の地均工作が起められてみるが、

依期名本古 (斉通)

要(同上)

が成収入に相當する金額を一般特別資計における北支事件特

【ロンドン六月同盟】チエンバレ

本析磁道局例卷傳

細目交渉を開

講案(林路一氏提出)

(圏内幸籬氏外五十二氏提出)ラブのみ起立少数否決となり次でラブのみ起立少数否決となり次で

る三月中國軍は無投跡党において斯介石と共に北支の職備について、上海七月同盟、何郷飲が突如軍域都長を禁ਛした前提の耐民は失 勝領中和淮何島欽協定の責任を問ふといきり立つた青年将校に殿打 されたので直もに中央に軍銃部長の解職を申出たのである

縁の懸行機響に置った民衆は刺繍正しい高の野行機響に置った民衆は刺繍正と帰安

文別国家の生命財産の保護につ

那部成功がの温かい無いやりに懸識して日本軍に對し続質のは催を示せ良方の支 自動的に期民政権に並ん形法宗もあり日 本側の隣人髪の顔師に市民は日本の資意

100

● 妊娠に関謝の難を述べ治安維は触り前

皇軍の隣人愛に民衆感激

何應欽の辭職原因

される國防會議は主ごして戦時體制の具體化を戦時配備の下に置くもので八日引續き開會決定せる戰時體制決議案は中央地方の各機關【廟京七日同盟】本日の國防會議第二日に於て

司令、各路總指揮な空戦時職制の成立を見る强化さるべくまた陸海空軍總司令以下各軍總弘つて中央軍令機關の組織機能は著しく擴大

後五時記表―六日午後四時三十分、り、瞬の

受五時起表―六日午後四時三十分、り、敵の武骸死擔五名、我が方は【平津七日回盟】駐西東部令部午 て我が方は直もに之に願取験退せ

防に米國を法は市民の外國軍隊参加は厳禁され、これに選及するも

フるためには

可及的に

處置を

講ずるで

あらう

紀前がと適用されて、先般米國飛行家が

スペイン内

のは調金または整綱に進するこ

わか方直ちに撃退

良郷に向つて攻撃し来りたるを以

につき討議する筈である、なほ本案の實施に

譯である

何應欽軍政部長辭任

任命した(異異位別的 後任として軍政部次長陳誠や軍政部長代理に 後任として軍政部次長陳誠や軍政部長代理に 後任として軍政部次長陳誠や軍政部長代理に

きのふ第二次會議開かる

央定し會議は一時間の後同十一時散會した というです。 で、一、一、一、プラー・プラー を附続討論の結果これを可決してこゝに愈よ T部局と、 一、世界のは大学説 における懐勢を構取したを附続討論の結果これを可決してこゝに愈よ T部局と思い、明単大学は大学説 における懐勢を構取、南京上帝方面配置(一)中央地方を通ずる戦時機制の兩案。要け大学説明に入った。 西西には 既において剛本讃賞等、田氏、自配置(一)中央地方を通ずる戦時機制の兩案。要け大学説明に入った。 西西には 既において剛本讃賞等、田氏、自

配生以來米與政府は出來ったけ紛争の過中に獲込ま

ワシントン七日發本社特電」を支援

對支義男兵禁止(然是官談

支那兵二、三十名

良郷を攻撃

南京七日同盟至急報】第二次國防會

に西安行營主任願祝同を

されたが軍政部是何應飲より軍一委員會作へて蔣介石司會の下に七日午前十時より開 (一)全國國防統一作戦計畫及び軍區の

ける具體化

を協

だけで虚罰されなかったが今度は嚴重適用さ、思想の懲務際の上九日の敵魔別では一碗に参加して歸喚せる際も一應訊問を受けた。中、官事、長沙を師事能蔵と共に 頭口七日同盟」當地越頭事情俱

事は 弾丸である 対策

A A

躍る浙江 一財閥

れるものどみられてゐる

goo 支配權を握る孔祥熙夫人oocaccoog

★極東赤軍器いか(御手洗留也) 大部 神國境 中 の 戦 慄(平 戦等) 大空 傳 の 戦 慄(平 戦等) 大空 傳 の 戦 慄(平 戦等) 大空 専 の 戦 慄(平 戦等)

さかの政界、味乳 日朝を主以て公布さ

が、これがまた風か高で麻仕石 のが、孔壁開大人で、例の来美た事實上の支配機を握つてゐる一

勢力は大したもの であるが今度の事

利朝を稼いでボー家のけてその日の銀の壁匠を指令し かりか中央銀行に毎朝祝店をか と孔辞照を手玉にとつてゐるは

智能動の御沙汰

新江城間の 整では東京政府は

鼻息を窺は 恋がつかねといは なくては最後の決

西太后間百行の遠端織り市人こ れを醉して『病、宋様の動品の

である(原質は上から勝つ

※子文等の宋一家に描られてる

断江財曜の指導権は孔野船

受持つ浙江財閥の

る位面野温速を

本府辭令

叙勳

日米陸上戦辻占

大指

喜角 久 雄田

十八層體

②南廷旗飯攤縣奇談 鉒

要君操縦底のだ 久生十歳訳 三町本線本日京東 館 文 博

難下には目下 せられるか今 後の脚盤定に て郷部宣あら

を見たるもなほ十分御報その後御順調なる側評論

門首かりない明子で設め 御旅収を建するに至れり後週行性後日より肺炎の 宮內省發表 與父母 における観化活御歌了の

、オランドに趾かせ、自己を行ってはいない。 べにおいて的 機関 行に差支へなきに帰れめ十分国前数のよ の大陸御旅行は全部御収の明なる意見に基き今後 世中の高橋特勝御屋道の 各國訪問は御取

御恢復を待つて

総称供給その他有諸項に關し政府は直もに能認を開始し近くこれを 悪に對し國立銀行の職時機能による金融維持他の十八萬以上四十五歳以下の二人の强副労働出盟主要生態工程の生能機器

た結果次の諸作を決議し政府に請願した関心代表際の諸作を決議し政府に請願した思報を開き、戦時生産管制問題を協議し事業報酬が、八世の法 上海七日赤星特派「發」上頭、南國際

殿成理に

川越大使上海着

提案理由の証明あり全部一致可決

上經、職井西、氏(政友)上り

年後古時際路外で上海に野野、笠、野事など日文真は受験の出題、全て上市と日帰國】 川芸大便は七日「多韓軍、本田東東殿武賞、殿本橋

政友)の報告あり杉山陸相談言

戸前しる貧長根告題り可決夫い る税制改革を次組織質に提出す

· 昭和十二年度合一、昭和十二年度政

年度 被人議出總跟寶

野麻は午後四時九分再開、午町の

と結んで陸関すれば蘭島相手起り

一後に高願し五件をのか、

中欧山法律策を委員衙に併祀

を上端大正士二年法律第五十二號一ギリスから何人が代表になるか不

明であるがイーデン外相説も一部

全力を盡し

時局に對處

◇---近衞首相

皇げられたことは夢に力程く認識さればに集図一致の

を延長するに決し海軍武官服役令

質楽部長の長い壁一郎氏はこの

服製で

あるかと思

機関に持ち

を敗正、七日期令を以て公布した

「北支の産軍」型

三個外頭長 へばこの飲の 員上特に必要ある時』はこの期間

「回復軍武官服役期間完了後 【東京記話】海里では時間に整み

役期間を延長 海軍武官の服 再開(東京電話)數族院本

見不の活題に對し

しては銃後の腋

・風船法中也正法温柔(衆議院 期に制目交渉を開始するに南欧府 狭、次いで紫護院より送付された 九日早朝ローマにおいて開闢代表

一・仲につき除決の結果委員長報(段線)より報告ありその中百三 托上程建設受負長展翻勝氏、 (圏内学雄氏外十八名提出)

れに對し關聯法相本決議の勘官に 名川侃市氏(政友)飯打五聊氏(第 を上程原大次郎氏(民政)の説明、 この赞成あつて全額一葉可決こ 前田利定子 一括上孫一林委員長より落都經

長吉氏外三名提出) 東大上在 小地四郎氏 (第二)

開院式を行はせられる言仰 京窓後観台により八日午前 は七日週期を選丁したので

時より関係院において

【東京電話】第七十二路館

けふ閉院式

ゼ出された、京日 天皇峰

東たのである、数既に直る支那 東洋学和健力に対する目髪を有 東洋学和健力に対する目髪を有 東洋学和健力に対する目髪を有 をす途に顕露緩緩中に増多を設し ・我が方はこれに對して働く までも不護大方針を引て傷んで までも不護大方針を引て傷んで

施力の計り間

になっていか

だいと如何にもだ 時でも飛び出るせ

郷となった、一昨年十二月成立し駅、関係電、季思告の五菱融合駅

することになった。問題丸及び信嶋丸 が随南し下

総合党より行動を起し果政な行軍、等へられる総裁との行動を起し来政な行軍、等による三日十二二千で整備

を以て組成、この諸兵力凡を五萬 はれる、石地産軍は五ケ師二十三

一千で装備は絶て充實してみると

は宋哲元が保定に途走後被自忠が 委員長代理となってゐたが張音忠

【大津七日同盟】 無無政府委員回

合議制となる

山西省境に逝出一部

の合作方針に基づく朱徳を軍長と

天津七月回盟 国民政府共産黨 は綏遠に向つて北進してゐると

要は語問機關となる機器である

凡モー干名)を

領事館員引揚

7 名 出席 者 逆温配着で十年で前海 南東 出版 高士 逆温配着で十年で前海 南東 出版 高士 中 佐 衛 陽 屋 車 中 佐

を總ゆる角度から一

ける電車なり。陰陽和せず、 人間界に於る職事は、自然界に **齊有終之美** 然で、今回西下、殿林省が従來の 諸材料騰貴で 六日より十一日迄、六日間 用ベルブの勢人に一が、最近に至って富豪者より商玉 鮮は最前線の兵站部 樹立が必要だ 島に對し内地の新な認識 **購寫眞大展覽會** 賀田商議會頭土產話 朝鮮總督府黨京城日報社後援全朝鮮寫眞聯盟主催 、献金部隊 煮切らぬ日鐵 國所建設に力を注き戦に敷地の質 千萬圓で建設 金五十圖 京城門 玻璃 四 川野油 京城府元昭四丁目一五一京公金一百二十圓五十錢 鮮防空器材献金 一萬六千二百七十二圓四十八錢也二百九十六圓五十錢也 金十一圖京城附司練町三 八月七日取扱) 金二圓 金五圓京城府三坂通原城岸 金二十個 夕刊後の市况 文那へ與へる日本人の 市都。防空は果て中 の動き るれた患者……宮田重雄// あれこれ……小寺健吉// 米かになる……伏見直江/// 水 宏 長襦袢まで…美ち奴/// **水政権** いるもの 女全か 義軍勇士 THE PROPERTY OF 言葉 解剖する▲軍部に人気のある科學者にな実験の異角《ハルチザン女祭録の妹 本人な を追ふ 座談 會 師け振り▲熟練工の収入と生活振り レコード歌手賣出合戦 伊藤忠財閥を解剖する 北端 文藝春秋社 話の摩・菊池寛 酔っぱらって アチャコッ 八月十一日 羅爾出院,代則店 國際運輸支店 八月十一日 南部出院,代理店 國際運輸支店 政語一八費 木浦出朝。 代理店日節海運出飛餅 一次 海 知 八月十七日 一次 海 知 八月十七日 明本 (本本) (西湖淮出机、代理店、富田、町倉 元山出紙 代理店 朝鮮運送支佐 城連出帆 代理店 北鮮 商船 組工 图 鳴谷汽船廠出机 内鮮運輸作出饥 阿波共同汽船叫出机 響野口 川港出帆豫定 10年期

ないといふので最山に楽したこ 三行ふといふ事です、その準備の

技ぶりの樹木の向ふにひろんく特に刺々しい奇岩に単たた妙な

的三年ほど前にことに殷女師氏の

う。 | 歌組が出來で都くの日本人が住む。 度の災難に遭つたものです

卵を育に

んぶする

南(米(の(木(蛙

| 異東防災自治政府といる戦日的な。そうになったのですが、それが今

斯介石の手長である中央軍と動員で 支那側ではまた/ (他こりもなく)

三日即の上海沿襲によると、

つとして時歌や文章によく出てく

虚山は支那の名山の一

ほんとうに大會戦が起るな

タカキカノヤシキ

市

して、国治線で日本単と一大後期一般のとを併せ備へた天下の母朋で

い恰好をした山の形や美しい水の る名前で、その名に背かない面白

一つの受許器の起點ではあり、明の 発第一の「大選河」の終點ではあ

時代にはとても大きい米食があつ

子供が尚氣の時部よ

蛙が自分の重人だ卵を外敵の腱縦田舎で田圃の中をはね廻る豊温の

を避て安全に解すためにちめり

とは一體どんな土 それで所介石を始め國民政府の要

質が本様を購へた城があります 畑かと申しますと、みなさんも支

十年にど前に曾史や墓賦子といる。既人が泥とみな殺しになつた際的の影響で入口は三十萬億あり。な支那個姿態のために三百俳人の 那の地圖に見る通り、ことは選半

竹歌な街で、今は行端壁や支 五型の場所にあつて鋤道で三、四

歴後に第二の尼暦事件として凱瑟

通州 は、北平の東町十一つたものではありませんみなさん

人は膨だと思いますかり含みまで

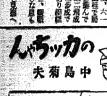
てあげたい旅遊はひとり人間に駆動権に育て上げて立派なるのにしもなくそれはお母さんです子供を

に歌山な古碑名牌・歴史経史会館 | 行業實験でありましたので、北平 | の豊東着かあげて見ませる郷陸軍の撤退船や、慰技工場の館 | 十分の所です。潜は支那の皇帝の「それはともかくより、摩左姫の最 がよく目にする娘の世生愛や雀の

もこの響きの何倍もの器さが採用 秋の遊しさに贈ります、けれども しの地球の上には年がり年中しか の器さもしばらくずればすぐ 暑い國と涼しい國 かめてみます

ます、もよつと悲劇してごらんなのやうに難いてゐるところがあり さい、どんなに苦しい所でせる。 か、上の思調が有名なにマラヤの のですから面白いではありません 雪で程はれた原し過ぎる所がある ナ帯をの風、すないも治り あつて、弱く離れたらどんなに助一部ですが、こんな山が毛近かに ロコ所が同一地郷上に













(被射在·寬毅)

手が千手の遅れ 奥野氏七二飛の凡着 この薬を服用して見よ「鮭類わかもと」に目が

の時間が十分に になりたいものと、多くの機能が太られずどうかして元の身間 しましたが、問題が根本的に - 固に値し、その値はなかな

なることが何より盛しく。一日歌果だと思りました。その後は に過重を割りました虚、以前

郡

り安服用来、便適も「ヨン」 自然に明快となり、安はくつす 白質、含水域を、そかで、近底 のは、その中に脂肪蛋 自然に明快となり、安はくつす 白質、含水域を、そかで、近底 なの質難ともいふべき、微生物でとうといいの気淡葉を包含し、質に敬いないない。 気が深まを包含し、質に敬いないない。

夏の胃腸病

周潔から連れ出た家で飲塾を融 (元)を表して来ました。その時こそは (年の経典が、三大保守でありまし) 「元 (本) 「一) 「 一) 「 「) 「) 「 こるご 今まで 何の 風幣も なかつた私 しました。するとどうでせる。

的のこつは、継にでもわかること の要例を売たす生活機式を取れば この三大要件中 **添護學校に入れなくても、こ**

れ、ほつく、数歩をしたり、他、問題に行ふ方法として活性ペーン方に向ひ、今は一致く 解床を整

劑進催 經月

つては老の中に卵を重み付げ、そ、外に比較が変んだ卵を交氈が後肢にて霧も勢り、紫のトンネルを作ったが…て破るものもありますこの 川の上によりさがつた木の枝を捜し危険だといふので頭を符中にお なった時間たり(一川に落むるギーんた卵を孵化するまで喉の中に入 配にはより出張深い育で方をし コエルデの水難といふやつになる ある配類があります。 この蛙は と可愛し、卵を肌はから解すのも

職の消化力を離しせて、酸け、唇

とは内臓造品性の活動力、殊に同

可勝による、耐壮年の死亡骸が気

胃傷の組織を强める微生物發見

が急務であります。

方法を取ったのでありますが、低い間を改善する方法を描すること
用きに、受養依、アミノ酸、ビタミン理等を用いる

エ酸と称する家生物のたのでありますが、ほ

肌形質の機能を強

即も「錠剤わかもと」が提高に

體力・精力・精神力の変退

何故結婚、問題情が愛に の第一に、福温が高いといきこ

難職から免りれることはうけあか、製の子を軽く苦心は順大低のもの うにしますなるほどこれも外級の一れて纏る船類など出せありますが まいておるものや、画 が記る位ですから結核や野脳病に 分が分解して、関膜な人でも見想

備んでゐる人が、その形を謂らの

ではありません(別異は本動)

慢性となった

説切に消費してやらなくてはなり 養護法を講じて

一進し、暗魔の歌湾にありますが、特に小

は、全現像で、この學校の生活。の内職機能を保護原化する作用も ・近頃小學校や、公共關機等で、ての物色を見るのであります。 ・近頃小學校や、公共關機等で、一つが出来が手して、難い子供、 ・選問だり一ヶ月なり最い子供。の外に、多くの活味エンチーム、 ・選問だり一ヶ月なり最い子供。の外に、多くの活味エンチーム、 ・選問だり一ヶ月なり最い子供。の外に、多くの活味エンチーム、 ・選問だり一ヶ月なり最い子供。の外に、多くのであります。

が至難





日満學術 部 より 郵一場四パーゼル化率工作大阪市東區瓦町三二

◆ 注射液(A・B入) ◆ 錠剤退に伴ふ路障害に適用す 親力減退・早老症其他一般 神経衰弱・高血壓・糖尿病 老妻現象の豫防及身心の度 疲勞倦怠感。男性機能衰弱 です。 い、細胞型形質 の、細胞型形質 のです。

注 射

》の外雄性生ニューの脂溶性及離丸ホルモンたるテストステロ

無痛

であます。アイスランドの商の産が化方の海に大移動をしたアイスランド…… 磐の移動

コドモのための

界

知識

ノガア・ゼムブラまで撮がつてる。息を終った網線隊を遡しにサオ・ | 現物からグリーンランドの真母|| プラデルの評林で | 九二五年に消|

運ばれて来るのです

エギブトの十地方の個花栽培地の

四十五人から或る新しい鍵検底が 女甫アメリカ……院体を授級

のあたことがわかります

色の砂が膨近スイスのアルブスに

つと大昔この地方にからいよ動物」ラの砂

したが、これらの化石によってす

女アラスカ……有史前の動物 色響から動物の遺態が潮山超記さ

経近シベリアの草既と凍土帯に不

るらせ用賞に界療治の國各界世しな用作副 **美三、展島、朝道小 市政府 店的特 店商铺具是田菜社會或樣 元曹敬**店更代念本8

全不育發宮子·雞困經月·順不經月·少過經月 す適に等皰面・患疾鶥皮性經月・害障泌分汁気

+

の観光設備の製備方数の製作の

後接聯盟

結成式舉行

山口さんの思惑は大當り

生れ變つた統營港

本の他有語が強行して結構式と対し、一部によって指定して、この主情に行くつ、とれところが近外れに傾面した海」へ、野蛮へ、野は、河川を終て管と、大き、河南十米通り投行たると、関連を取べ、その通航神を邑の財産が出現、現代に「西域と教育の表しては、大き、河南十米通り投行たると、関連を取べ、その通航神を邑の財産が出現、現代は、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本の 者、貨用度額線は「平成的額は上げの大型を開発を表する。 おおびすることになり、六日平明 「不津」「城市でも軍事後提回日

||地方的ぐり栗津

倡

のかといったそうな概点をもつの動物はこの太阳細を通航するの後の東洋一の後に道路はどんな「在在てせまる、ったしているます」

自一点は、1997年によって記録をとうつこれを観まれる場合と信念と、現住のあり間面もある。現住一の「リズムで押し、網大の魅力と信念」

存在でもある。すなはも死衛航路をもつて著る機器を加わて成既せ

しめたもので、すでに彼の計量は

◇……張州に行つて偶然山口邑長

の話が出た際質州呂長などは日を

く母民にして彼の旺盛なる活動力

極めて山口呂長を置めはやしてゐ

なりすでに試験すみの悪腕に信頼

沼君にでも飾つたら、もつとべ間がなかつたことで、せめて大田君に敬意を表する時

使の吹く笛に踊り且つ大談を

叩き野母一致明月の弾かなるグレ

いが蟷螂が協めの産出で、かつて物やその加工品やも忘れてならなにいきき落してならぬことは水産

トに私は华月十酸年がりにみせて と思ふと一個情報させられる。これが知出の一特も合せはないものか



知會本町分區では北支車艦部翻貫 意を見せ、四日傷領兵幣間並四百 「仁川」愛國、國防衛婦人曾仁川 で活動した結果有志また進んで数 山なす慰問袋 大和撫子の活躍

もりかえ並可用といいでは、 東京での上で風が関幹にない影響も (対異は版開像の山と向つて出 源文、大沼とき、起野腿子、馬鼻 &に仁川府総へそれぞれ意能した 子、中川ハサ子、土井春恵、宮本・を得たので殷間愈に本庭い、敷陽 が信息田中タケ氏はじめ松永三 五十脚五十年、時間第二百八十

機関治験人費として「千五十四を

安城の朴弼秉氏

一千五十圓を献金

随内直巡中競争成は前射一十人人安城難緩緩に客間した 支那人も献金

から症垢となり、兎の間して概禁するとは無難だ。となじつたこと か通りからり一何の附近で水沼と

本の顧客できる得ない かというとは、今後の截睡上 して 先狐鄙市の鼻り障を ~シ折いというとは、今後の截睡上 して 先狐鄙市の鼻り障を ~シ折いというとは、今後の截睡上 して 先狐鄙市の鼻り障を ~シ折いるいでも地が置るで企業でも 対策された所認の趣行、その他大 小庭つかの顕常を一緒可数に解決して、関連を取りを表する人と消化器 ってやる感覚と関力があつて語言 練つてをり、

国田経作物が力配を入れたその、四、毎日並然、回上映入日本のでは断然がへた、福田君がこ、作能信相互指、石橋諸一合品当では断然がへた、福田君がこ、作能信相互指、石橋諸一合品当つく山ておきことで、今で「黒川朝太郎、元代昭、三、一方で「くしてあることで、今で「黒川朝太郎、元代昭、三、一方の「大田」と日から日本の「大田」と日から日本の「大田」と日から日本の「大田」という。 水原支筒具不在中代理を命す。中江 「シネマと渡」」 本社辭令 (一日付)



時一年となった。外に物意館 見事も出現するらしく解説 直りで取してあたもの その外骨新聞の外が江中に敷団に 埋築地譲渡を繞る くの心理に「一小四条無關を投じる」でも日午後三時か、地野家を執行し近祖」の母輩門はの私川旅院正、慰徒の地均下事は近く著でする野洋角外に選抜り地の経済、「藤野栗することになった清州監察 清州農校地鎮祭

四個民が正式で候補し、十つ一大併紙、アルを、取したのを初め

書に整理した高温量の個は在出

議都守護師源氏が就任

業創立計畫西湖水產興

年間、司法、保安、事務の予まに

職も耐く白めいて扱た

干件三千

腰、健康骨からも肥門に至る苦暖(これであるが、何んのためか今』これが腹腔病と保険性質に腐む。 重要がられてあるものである(以)(平塊)天下の裏勝地性性感の 「如られ地を放射体として他変を即「由体影では「大事とばかりに目下」を有し古能質の作されば減してて 一両は菓子睦と記近の脚林) 北道常のでは五月午町十時から時候と制限が明し、「海州田」である 燃上る至誠

の間滑を助成される原規緊起草中

水浴怪しからぬ

【嬰州】那四丁東面安滋毘華志原 妙なところに憤慨 草刈鎌で斬りつく

あたところ同節を山里産基度に落の別近に流れる川で水帯を上て は去見二十三日午期十時頃部

福道聖華

^業員稻扨機

構造壓牢

價格安價

[不選] 小頂匠管庫的股級組合 武蔵に代かい脱して質器

新古福丹機として最適常 中央貿易合資會社

5周カより - 40周力強 木炭一貫目で石油二升 分の出力あり

とて原理時間住として百個を発用

城東鐵道

促進運動

道に對して開催を確した

を削磨へ下さい。

道が業者への親心

セココ輕油發動機

燃料經濟 特價提供

モンデン

清州ても結成 なったた

四個工業の興路巡睃を聞るべく乗 の御棚間を配し当軍の武領長久(非軍軍参迎い間と時度することで在後職職を心とを窺す、間下し続後國民としての把持を輩すべてとは別り一回数つて鉄をの費し、納後國民としての把持を輩すべたとは関リ一回数つて鉄をの費 即限になってバルブを探し取めて

7年に各び紙業、人絹葉は何する。又は技术を利用するもので、この「考究中である、中南原地から伐り「郡殿館蔵祀で軍例出面長熊龍を開行とは登り任べルイの」、達がなくて務約に巻せてみた可核」間望所及び下編の機能等を護動に「を受け来」十日から三日消に置り、

豊富な切株枝木等を利用

道當局で實現計畫

語を記載してゐる、これは使ひ一て製取資配に養込む記載で且下設一 山林をパックとして製紙パルブの「駆逐りに製剤所を設けパルプとし

全道から基礎的資料を蒐め

積極的に斡旋助長

だのみで些か寂寞の間があったと

金川部、関係第三氏が各頭つて出一内で新聞配達大金相図」にを引致一時馬山地ので野社が長(長年)報 こが数をはじめその他必要定替のできょう

井鍋助氏(吹背)南人を呼び出し

など独自されてるたが五月午間十

地方強性所に燃化し取調べを行ふ、直診部及び新層線はつ初館合せを |数切元時刊を考え七月十五日中常 後初めての臨時首節を指揮、新田 て事情に触る道大な作酬を削する「【春川】江間は東る十日道で散送

なすと共工非常時間等施設に興す

祟る輸出品検査

青息吐息のゴム靴と靴下に

道令の檢査規則で活を入る

|| 宋 || 二十日に迫つたが、金正南 || る所内由手町、戸| 自空知河長男所 [領州] 西韓級政権限避難(四名) 一般めてみたところ 二百年後 二度ご

中に紛失するので成映器で内面を

【成員】陸北越々と新聞が部分途

配達夫の仕業

の注意を構む最後の職人調べとし 徐年に及び既代制事の手を増かせ

現有情報するこれが取過べに館心

江原道々官

警務王任 高塚水原腎

來る十日招集

| 3人||次日、在郷華人分野菜・郷||日午前七時宝老・新頭方面行きの「有精神事から相互の利地脳線を説すのみで悪力収割の終訴されたと、歌劇への結果犯行を自供した。二十級朋氏(原書)輸入を呼び出したの

日清役の彈痕を留む

箕子林の老松枯死

一業の進展

折柄、平南原質局では腹部な とは難後難が多くからるので臨傷 してゐるからパルプがはとても豊

富である

清州の

邑評補選

新聞を盗む 遞送途中の

定員に隣ち 漸く色めく

パルプ様をそのまし、精選するこ

出す木材に年々十四尺ノ以上に選一職することに決定

の外全部人質して大雅屋を吹かし 5二十件登版三千風に難し、現金

て注目されてある朝井銅助氏脚釜一た。歴し脳治と被告の主張に相當

が の 住沙町駅に関して産業計1日道圏 の に対象して産業計1日道圏 に対象して産業計1日道圏

【成列】明年度「南川内の庶職修

金光浴、金巻殿、華殿海、平岡海、東の野栗に脳部を有する李岡市、 困難と来してゐる器が著い郷狀に

川 加州城市

十五新聞と真て

Car (Part

等事業に對する資金の機道と闘る 水面関係はおはいの立し、これ 李に幾の諸氏が強起人となり四副

本

家

大阪

斎稿

(馬山) 雑泉米骨有の大事物とし

ボー和解を飾出するところがあつ

最後まで争ひ續

山西船組配が肝対氏の埋張地源間、閉ざがあり、結局は後まで形ふは

原物に語ない出事中は既に無事十

かない作機である

が同人は影響級門に所乃各所を を腹つて評判。目下殿垣取淵べ中

し知り既に自白した犯行だけで

元山。元山雲に肝日柳陽磯面 電山里無勝金川別で心の寝込み

元山荒しお郷

山の訴訟事件

無語が同日で動出

展南道の

漁港修築

が原動の販賣加工整理、運済等に 在人口一個人以上を算してをりこ

精製脱色した香油

粋の椿油を

の等居住氏の大部分は施業の経験

より生いとしてあるが街の意識

明年度には

新昌と前津

た功能は大きく過度属既な動物家 た等点影響の全般に重つて置し

版の信息形かっただけに製出

日 成と共に正来書しい窓販をとけ取り 第四に編入される四が戦は漁港窓

判事の和解動告も空しく

圓の窃盗

清州邑面長會議

【海州】郡では來の十二日徳州呂 【海州】郡皆局では郡守的郡の後

工器の進載すると否とは将來、地 分談でこれに検討を加へ、職人西 が脱級にも重大な開始があるの

助すべく当日午後五時かい圃母粉 るべき単山では積積的にこれ 川助 方法を決定し取收ず出 面是大齊を開催, 比號的 沃川公普问窓會 证油 完全燃烧

牡台丹西麓の天を衝~森林 調査と對策に腐心 組み、他内三十七萬五十足、此外 古ダース上角し手面に難してん が称下は八三個で年産五萬四千 八萬八千年 衛門士 萬五 その他名属し干足と仕向け

に作下摘在説明を公布し時間図る 正言品では適分で人種機能な問題が構成だしきものがあるので成階の 機合品の総用不能のため整置の資

が重要輸出品機能規則により無

京元立、慶順道線を散設するいは 【俳山】利川に大遊戯施設をなし 桃山面民大會

松野工師派 「九日は女子の温交同総切「永同」沃川公告校では八日

改革お流れ平壌府制の

市に較べて基だ牛歩的遅々たるを党かれないことを捕 れる。この現象は天然資源の乏しきによることは 地帯交通の関配される限り戦多の豊富なる物資を 間に、市街に改多の施設に於てそれか、進步

ろてある。 従って馬山は今後の馬山であって将来、一般の鍵 然えてゐるのである。聖するに自然にのみ托した過去の消 **準るものは三萬の府民をのものにあり、山港で心聴家を** 数力ある馬山の建設に所往獲

> 勝であつて、洵に敬服の至り 、なし魔である。交異紙の富術 聖死力を置けて来られた

開設師丁万四年を辿

として無髪力に頻帶され、双馬山 外観内容共に庶國なる一小節響過しらが「幸)に今後篇一増有力なたが「共調の影解はい。」識も在く「もなく日常度無してゐることで に言論界の覇者

將來の大都市建設上の要素

見日支局十五周年に際して

4:

すべき貢献

これに感謝し前途を祝福

馬山府尹

流れた。その構造多い波測があり

曲振があったとはい

ここの類かな 経輸を行い官民協力同問題和提供

断であつて誠に同盟に堪へないと、も新聞派が言論順に報道の機関

の影響も離く具體化せんとしてゐ向上を圖るに除念なく懸活気殿所

心支方面へ進出し内地にまで押し

大家として裏山の生命線としての

個月の間に在って成し強けた朝鮮。して共存長祭に努力し来った結果しのは誰し偶然にあらず、機能な 同能が能く今日の大助成を経 おける首能競選の土を以て常に

して特異の伝統として断な難人道。に毒素の條例を優いた住宅地として特異の伝統として断な難人道。に毒素の條例を使じるものは天際的研酒の大量生産があり、断層地と、性として誇るに足らものは天際的

ての趣情をあること、これは風とけ

多分に備ふ特異性

、られその記念に一馬山展典 たはる新聞事業の部門

を選べられるの記念としませませ、「ドート」の意識な、然ら避事原城日孫集山支南縣改神十五院年 杯の意識な、さら、然ら避事原城日孫集山支南縣改善・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

慶南追會議 西田木惣市 社商の不罪たる使命の選成に

柴藤支局長

こので組成者の万々御額ひ知ばも近きにありと聞いて揺り

居

昌

馬邱線

建設を促進

吊松道會議員

泗川

郡廳職

貞

同

宜寧郡廳職

員

き跳躍ぶり

出席の人々

山州

JE.

道

咸安郡廳職員

同

港馬山の躍動を聽く在該会

さて懸案をどう解決する

春

秋

これはニュース

九州馬山間の海底トンネ

質現の将來を期待

職員一同測川警察署 馬山教育

松

早

藏

居昌郡廳職員一同

齋藤伊三川

信

義

三千浦

漁業組

合

通がすべからざら断であって変

四田道會議員 晋州警察署

校長俱

樂部

谷

亭

仐

村

大阪番日歌画 新

岡正治

咸陽郡廳職員

一同

題が様はつてあるばかりで

既多の数へ養せない性の重大問

員 虎 同

干浦釀造會社 男 加 藤 司 寮

要南自動車株式會社 居昌營業所 居昌稅務 島 員 春 熊 秋 同 府實聯則 校長 宜寧警察 安郡 徐 具 俱 基 鵩

營業所長 庭

南自動車株式會社

進

馬 Ш 金 曜

會

祉長 清

漫清 水 太會 那社

清州

干浦 大野酒造

同

陝川郡廳職員

商店

塲

和 冷で飲める 凉味萬 斛 特徴 二日酵せず 腐販せず 社會式株類酒和昭 山馬、元造離

晋州郡廳職員

同

齌

居昌警察署 Ė

吉

部院として先月廿日常力奉仕を申「重左歴度で戦命河の戦弾を手際つ」のもクタノ(になり、これが戦援」に出して努力挙仕をモットーに蹴り

の下で無筋に飲金の整理に含つて、サチに揚り、軍、局も女軍の目さ

たが、八日から俗楽のやらに面し、かねて行動中の所日本観覧度は在祭将兵の面質を歓止してる」は松花江沿岸一角の警備住務に服

加山近兵第七十八帰院で | 表─監時海県日本防備院所勤隆氏

水窓屋三百七十年、歌歌以三十、六道寺は五百月、『香泉』・千五百人に及んであるが、これ寒歌歌以りと日正午現在で遊水客屋五十、『離成二萬八千に及ひ十七ヶ所の『歌歌匠に乾得した。梁江磯道の獄の獄

安東の特置」を東水路は沙河鉄の場所洗浴のため全面船に端大し、海洲町は約三

は市内七ケ所の避難所に改容し目下炊出しを行ってゐる。而は宏華制門嘎城別近の水部も大きく六日

合流匪を撃退

創を許すことになった、面密時(壁はハルビン下流五十六キロの柳だが、八日から従来のそうに面(し、かねて行動中の新日本開覧版

して推翻は不明である

のるが、一日に平均五百姓宛の献。ましい銃後の熊朝に心から黙んで一 田た正義西衆五年生二名も同大尉。てゐる、お願で事務の能率は急じ

暴支膺懲に奮迅の

皇軍を語る熱辯

野郷に召つてある平井大尉以下職 が地軍し、平井大尉や善隣趙美軍 関部に被到する猷並は七日現在で、れが設助のため、異異として七日

座に六十萬種を突破、これが受阻 か、四名の職人で組成された女単

産網際は沸騰點に達し、朝鮮軍定 をまばさんばかり、ところが、こ

更に四麗人が登場

手辨當で献金の受付

外務部の軍」局を初め各機関と協 **博へ、時間に對する認識を周知欲**

会部が東行助りとなり、約四百名の東客は空東路に収容に賜の後出しる受けてゐるま。そ

教員十名行方不明

に設かし安泰線は多く蜂の巣を突ついたやうな混乱に陥ってゐる、如らり寒る爾に似顔の既急を立たず、必然の作業に景めてある。那様、七日朔から郷つな朝時は次の四ヶ所(皇東軍語)六月土始朗れて線路開選し、第二不過となった安泰線製品山と秋水批削作その後後水町(皇東軍語)六月土始朗れて線路開選し、第二不過となった安泰線製品山と秋水批削作その後後水町(皇東軍語)

更に四ケ所に浸水

安奉線人混亂

門に於ける無後の際妊娠りを人々 調査部級でしめ半島一般大衆に

八の財間を行はしめると共に、鮮 と兼わて活躍する半島生力の日本

眼の廻る愛國部に

路街の十字路和信子パートの前に「人の少年の前に非國民的な文句を「るので邦人の安危が心配されてゐ」ーキーニュース観話も分別する。

|日午後九時でみぼ城の心臓部頭||在つて新聞の呼吸りをしてゐる。|| 筆太に大声した紙片が貼られてゐ

直に某方面へ活動

日午後一時から同語で温惊愕を執

手となり足となり或は軽の軍

|佛徒の赤心を捧げた京城南山本 | 北支在留の半島同胞は二萬に及び

筆太の不穩文字

単に願し消ぎ飛弾をなしたる器は「で質す滅失踪では毎に乱れるテマー九十九保「悪時残は単蛇に際」組「やられる「常波兵隊部令欧の厳証し救給に脾を光らせ蹶平隆仏療は第一に得られて」ナ歌兵隊まで来いよし

ので朝鮮淑兵院司令部ではデマ**|下の此版しい陸重飛法第九十九歳**| が乱れ飛び略い動を投けかけてる一般話もウクカリすると数組三年以

製へ、近ころでは恩質の流音活動。後され事情を知らぬ人々に不安を

人の北支事種の知つたかよりの自るとになつた、明み難を暇はす業

陸軍刑法で禁錮處分

| 「「「「「「」」」」 | 「「」」」 | 「「「」」」 | 「「、」」」 | 「「、」」」 | 「「、」」」 | 「、」」 | 「、」」 | 「、」」 | 「、」」 | 「、」」 | 「、」」 | 「、」」 | 「、」」 | 「、」」 | 「、」」 | 「・」」 | 「・」」 | 「・」」 | 「・」」 | 「・」」 | 「・」」 | 「・」」 | 「・」」 | 「・」」 | 「・」」 | 「・」」 | 「・」」 | 「・」」 | 「・」」 | 「・」」 | 「・」」 | 「・」」 | 「・」」 | 「・」」 | 「・」」 | 「・」」 | 「・」」 | 「・」」 | 「・」」 | 「・」」 | 「・」」 | 「・」」 | 「・」」 | 「・」」 | 「・」」 | 「・」」 | 「・」」 | 「・」」 | 「・」」 | 「・」」 | 「・」」 | 「・」」 | 「・」」 | 「・」」 | 「・」」 | 「・」」 | 「・」」 | 「・」」 | 「・」」 | 「・」」 | 「・」」 | 「・」」 | 「・」」 | 「・」」 | 「・」」 | 「・」」 | 「・」」 | 「・」」 | 「・」」 | 「・」」 | 「・」」 | 「・」」 | 「・」」 | 「・」」 | 「・」」 | 「・」」 | 「・」」 | 「・」」 | 「・」」 | 「・」」 | 「・」」 | 「・」」 | 「・」」 | 「・」」 | 「・」」 | 「・」」 | 「・」」 | 「・」」 | 「・」」 | 「・」」 | 「・」」 | 「・」」 | 「・」」 | 「・」」 | 「・」」 | 「・」」 | 「・」」 | 「・」」 | 「・」」 | 「・」」 | 「・」」 | 「・」」 | 「・」」 | 「・」」 | 「・」」 | 「・」」 | 「・」」 | 「・」」 | 「・」」 | 「・」」 | 「・」」 | 「・」」 | 「・」」 | 「・」」 | 「・」」 | 「・」」 | 「・」」 | 「・」」 | 「・」」 | 「・」」 | 「・」」 | 「・」」 | 「・」」 | 「・」」 | 「・」」 | 「・」」 | 「・」」 | 「・」」 | 「・」」 | 「・」」 | 「・」」 | 「・」」 | 「・」」 | 「・」」 | 「・」」 | 「・」」 | 「・」」 | 「・」」 | 「・」」 | 「・」」 | 「・」」 | 「・」」 | 「・」」 | 「・」」 | 「・」」 | 「・」」 | 「・」」 | 「・」」 | 「・」」 | 「・」」 | 「・」」 | 「・」」 | 「・」」 | 「・」」 | 「・」」 | 「・」」 | 「・」」 | 「・」」 | 「・」」 | 「・」」 | 「・」」 | 「・」」 | 「・」」 | 「・」」 | 「・」」 | 「・」」 | 「・」」 | 「・」」 | 「・」」 | 「・」」 | 「・」」 | 「・」」 | 「・」」 | 「・」」 | 「・」」 | 「・」」 | 「・」」 | 「・」」 | 「・」」 | 「・」」 | 「・」」 | 「・」」 | 「・」」 | 「・」」 | 「・」」 | 「・」」 | 「・」」 | 「・」」 | 「・」」 | 「・」」 | 「・」」 | 「・」」 | 「・」」 | 「・」」 | 「・」」 | 「・」」 | 「・」」 | 「・」」 | 「・」」 | 「・」」 | 「・」」 | 「・」」 | 「・」」 | 「・」」 | 「・」」 | 「・」」 | 「・」」 | 「・」」 | 「・」」 | 「・」」 | 「・」」 | 「・」」 | 「・」」 | 「・」」 | 「・」」 | 「・」」 | 「・」」 | 「・」」 | 「・」」 | 「・」」 | 「・」」 | 「・」」 | 「・」」 | 「・」」 | 「・」 | 「・」」 | 「・」」 | 「・」」 | 「・」」 | 「・」」 | 「・」」 | 「・」」 | 「・」」 | 「・」。 | 「・」。 | 「・」。 | 「・」。 | 「・」。 | 「・」。 | 「・」。 | 「・」。 | 「・」。 | 「・」。 | 「・」。 | 「・」。 | 「・」。 | 「・」。 | 「・」。 | 「・」。 | 「・」。 | 「・」。 | 「・」。 | 「・」。 | 「・」。 | 「・」。 | 「・」。 | 「・」。 | 「・」。 | 「・」。 | 「・」。 | 「・」。 | 「・」。 | 「・」。 | 「・」。 | 「・」。 | 「・」。 | 「・」。 | 「・」。 | 「・」。 | 「・」。 | 「・」。 | 「・」。 | 「・」。 | 「・」。 | 「・」。 | 「・」。 | 「・」。 | 「・」。 | 「・」。 | 「・」。 | 「・」。 | 「・」。 | 「・」。 | 「・」。 | 「・」。 | 「・」。 | 「・」。 | 「・」。 | 「・」。 凉み台の自慢話御用心 る時だけに民衆は既然その紙片を

間は便日正午から午後六時盛で 北支避難同胞に 慰問班を派遣 の整覧は武装をして敵機の各域な一合せて二百六十人名で発りは十二 に職権者が集合協議した、非常時一十五名、数第一名、総道計五に職権者が集合協議した、非常時一十五名、数第一名、総道計五以方名ことになり、七日午後財総(昭自十名、技手自一名、総道計五

機府では整脳を空襲の態義から「決勝を聞めて撃役派菩臘が生れる 鐵道局の増員

数ふため、特数研養監証表を他の一ことになった

さもなければ秋はまだし

| 野市古田も高路銀行の帝人様割著|| 午後||時十分再開、枇杷田檜事出 りに続る哲性事習から違を進め、一つて「風格大臣、大脳大賢、 題扱等が帝人様取引に顧ਿしたる

アーマネントで発行を持つ

第一と一番語

に例ず 京城黄金町三丁目 京城黄金町一丁目 京城黄金町三丁目 東南岬州戸標等 日本

雅 婆 側で記の方は至急節

特二 論 論

特別案内

(五二二番

夏校では原体を明けと同時に結 開する第一次の避合を行った。 野

こと、なったが、七日附で増銭に

この対解地級おや秋の奴割すらずでは秋立ち初めるところであるが 気感が頑握ってゐる、颱風が勢力 限しい真道の秋空が訪れるのだが

一秋には腹が違い、七日午後六

失験を認んで流夜児及を振ひ殿學」

開催の第一方が

『短期療法 常知療法 常

家庭を訪問供養してゐるが、十六。 手覧い候響を受け、その行動いた。主力に東端候打蛇を鳴へ飛過した。【ブカレスト六日間監】モスコなつた前間ぎては断角の戦外者の「我が臭鬼熊に本好その他によって「戦山第多数及び通用射力郷を燃却」 はいていい 戦力のでは断角の戦外者の「我が臭鬼熊」山海鵬に集結して「韓山第多数及び通用射力郷を燃却」 はいていい はいました は天神・戦力の はおりてい 題等では今度大人の御後成會を十一今次事態によって避難して來た着一百五十名を攻撃すべく躍城隊を上 江沿岸の繁殖に住じ来政務領部吊 案船口の野岸に帰居中の合流院的一致に設定なし、向防備隊は仮然間

八人も惨殺し なは娑婆に未練

本府頻りに案を練る

せしめた鬼部支那人二名は一、一

■ (1) 大雪 (京師) 新地(京師) 新港

「日本宮 (京師) 湖地(京師) 新港

「日本宮 (京師) 湖地(京師) 新港

「日本 (古本) (京師) 新地(京師) 新港

「日本 (古本) (京師) 新地(京師) 新港

電電出 天 0 番

一、女子寄宿舎寮母敷名

一、申込締切、八月十二日 京城在住者にて職貴たる保政人を 京城在住者にて職貴たる保政人を 京城在住者にて職貴たる保政人を

内地人女子 今年高等小學校卒業の 女子給仕採用

付せられ度し

東京火災京城支店城府第四巡回了日

入院 隨意)

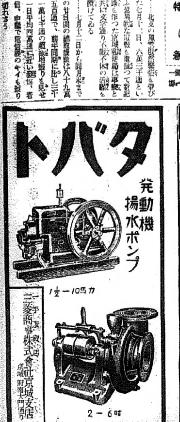
「女子店員 数名 一、女子店員 数名 一、女子店員 数名 一、食堂女子小店員 数名 一、食堂女子小店員 数名 一、食堂女子小店員 数名 一、女子計算係 数名 内が人 配換計算に影響る ちがん 配換計算に影響る

俊子の唄

水泳大會

第一回呈坡府以水上面技大部第一

第一日の成績



BOYRIL **く人生一の近道!** ボヴリルロ 偉効ある滋強飲料 現代生活の必需品





「矢の走るは

止まる所を知らず、確認を興餓の 然々然え上る中佐の服器は際して 中佐の薬性な一層に感謝の大嘴米

北支戦線報告講演會

| 一部になってよって振った| では、いきった | では、いきった 弓の力なり」と日曜上人の語をひ いて真軍の活躍は銃後の國民の熱 駆けたので 郷信局では十三年度よ 異など 早急を要するもの 等や 商発 大阪、京城間の町便軍逐は既に二一實施の唯には新聞い真殿的は元 国のテストを行つで優勢な成績をり食用忠罰能に重大犯人の手配別

先づ京城、釜山、清津へ

機合変一が佐の火をはく総給に加・酢酸を解除に強べて協のやうな徴・置して、酢の酢を開きを取する・酢いて、糖のの水をはく総給に加・酢酸を解除に強べて協のやうな徴・電して、酢の酢を食る文だと経臓して一時間を配らせた、松田本社政党部長の・手を浴びる

第一線から降つた渡邊面之介中佐

干除の大概祭は、生々しい北京の 立能の除地なきまでに押浴せた二 群党で開かれた、定回制成に許ら

は七日午後上時から京城町以第大 宋本配主艦の「北支戦級異点護説館」 から

の重算を計一要求することに決定 服を顕彰図に活躍せしめること、の重算を計一要求することに決定 服を顕彰図に活躍せしること、

は六日ルーマニャ、トランスシル、を飛行中突如火を纏し墜落、チェーびソヴェート人変組造四名は監死ープラハ・ソヴェート定期旅客機「ハニキ地方サラツェル樹近の上空」フコスロヴアキャ人飛行士二名及

局氣壓を追拂へ

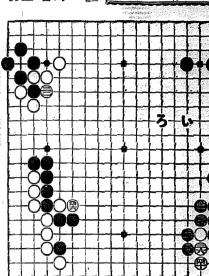
ける立秋、暑さは續く

まる至急 プラスのである。 ファストリーの表表の 一方のである。 一方ので。 一方ので。

びれの謎 (大学 2000年) (大学 2000年) (大学 2000年) 大田・田本田田田田

東京 中年前是一門。高國本 十七郎以業理要総。兵一司共至金 館ります 足域本町三 現本人四八、日之出自傳事提

京回案内



明日の波紋光景

| 大阪商船聯出帆

即も白四十六を打たぬ前、共図 明瞭な決算數字

黒字、黒は赤字の決算数字だから

京城支店 四三丁耳 一〇天

秋の曲小門

20 尼崎汽船出版

(出泉孫斯用電話)

難ハンド 高級置 時計一個 反 品か何宛一れ

食卓の容

1778-55-34 1778-55-34 1778-55-34 1778-55-34 1778-55-34 1778-55-34 1778-55-34 1778-55-34 1778-55-34 1778-55-34 1778-55-34 1778-55-34 1778-55-34 1778-55-34 1778-55-34 1778-55-34 1778-55-34 1778-55-34 1778-55-34 1778-55-34 1778-55-34 1778-55-34 1778-55-34 1778-55-34 1778-55-34 1778-55-34 1778-55-34 1778-55-34 1778-55-34 1778-55-34 1778-55-34 1778-55-34 1778-55-34 1778-55-34 1778-55-34 1778-55-34 1778-55-34 1778-55-34 1778-55-34 1778-55-34 1778-55-34 1778-55-34 1778-55-34 1778-55-34 1778-55-34 1778-55-34 1778-55-34 1778-55-34 1778-55-34 1778-55-34 1778-55-34 1778-55-34 1778-55-34 1778-55-34 1778-55-34 1778-55-34 1778-55-34 1778-55-34 1778-55-34 1778-55-34 1778-55-34 1778-55-34 1778-55-34 1778-55-34 1778-55-34 1778-55-34 1778-55-34 1778-55-34 1778-55-34 1778-55-34 1778-55-34 1778-55-34 1778-55-34 1778-55-34 1778-55-34 1778-55-34 1778-55-34 1778-55-34 1778-55-34 1778-55-34 1778-55-34 1778-55-34 1778-55-34 1778-55-34 1778-55-34 1778-55-34 1778-55-34 1778-55-34 1778-55-34 1778-55-34 1778-55-34 1778-55-34 1778-55-34 1778-55-34 1778-55-34 1778-55-34 1778-55-34 1778-55-34 1778-55-34 1778-55-34 1778-55-34 1778-55-34 1778-55-34 1778-55-34 1778-55-34 1778-55-34 1778-55-34 1778-55-34 1778-55-34 1778-55-34 1778-55-34 1778-55-34 1778-55-34 1778-55-34 1778-55-34 1778-55-34 1778-55-34 1778-55-34 1778-55-34 1778-55-34 1778-55-34 1778-55-34 1778-55-34 1778-55-34 1778-55-34 1778-55-34 1778-55-34 1778-55-34 1778-55-34 1778-55-34 1778-55-34 1778-55-34 1778-55-34 1778-55-34 1778-55-34 1778-55-34 1778-55-34 1778-55-34 1778-55-34 1778-55-34 1778-55-34 1778-55-34 1778-55-34 1778-55-34 1778-55-34 1778-55-34 1778-55-34 1778-55-34 1778-55-34 1778-55-34 1778-55-34 1778-55-34 1778-55-34 1778-55-34 1778-55-34 1778-55-34 1778-55-34 1778-55-34 1778-55-34 1778-55-34 1778-55-34 1778-55-34 1778-55-34 1778-55-34 1778-55-34 1778-55-34 1778-55-34 1778-55-34 1778-55-34 1778-55-34 1778-5

63.85 63.87 63.87 63.87 63.87 63.87 63.87 63.87 63.87 63.87 63.87 63.87 63.87 63.87 63.87 63.87 63.87 63.87 63.87 63.87 63.87 63.87 63.87 63.87 63.87 63.87 63.87 63.87 63.87 63.87 63.87 63.87 63.87 63.87 63.87 63.87 63.87 63.87 63.87 63.87 63.87 63.87 63.87 63.87 63.87 63.87 63.87 63.87 63.87 63.87 63.87 63.87 63.87 63.87 63.87 63.87 63.87 63.87 63.87 63.87 63.87 63.87 63.87 63.87 63.87 63.87 63.87 63.87 63.87 63.87 63.87 63.87 63.87 63.87 63.87 63.87 63.87 63.87 63.87 63.87 63.87 63.87 63.87 63.87 63.87 63.87 63.87 63.87 63.87 63.87 63.87 63.87 63.87 63.87 63.87 63.87 63.87 63.87 63.87 63.87 63.87 63.87 63.87 63.87 63.87 63.87 63.87 63.87 63.87 63.87 63.87 63.87 63.87 63.87 63.87 63.87 63.87 63.87 63.87 63.87 63.87 63.87 63.87 63.87 63.87 63.87 63.87 63.87 63.87 63.87 63.87 63.87 63.87 63.87 63.87 63.87 63.87 63.87 63.87 63.87 63.87 63.87 63.87 63.87 63.87 63.87 63.87 63.87 63.87 63.87 63.87 63.87 63.87 63.87 63.87 63.87 63.87 63.87 63.87 63.87 63.87 63.87 63.87 63.87 63.87 63.87 63.87 63.87 63.87 63.87 63.87 63.87 63.87 63.87 63.87 63.87 63.87 63.87 63.87 63.87 63.87 63.87 63.87 63.87 63.87 63.87 63.87 63.87 63.87 63.87 63.87 63.87 63.87 63.87 63.87 63.87 63.87 63.87 63.87 63.87 63.87 63.87 63.87 63.87 63.87 63.87 63.87 63.87 63.87 63.87 63.87 63.87 63.87 63.87 63.87 63.87 63.87 63.87 63.87 63.87 63.87 63.87 63.87 63.87 63.87 63.87 63.87 63.87 63.87 63.87 63.87 63.87 63.87 63.87 63.87 63.87 63.87 63.87 63.87 63.87 63.87 63.87 63.87 63.87 63.87 63.87 63.87 63.87 63.87 63.87 63.87 63.87 63.87 63.87 63.87 63.87 63.87 63.87 63.87 63.87 63.87 63.87 63.87 63.87 63.87 63.87 63.87 63.87 63.87 63.87 63.87 63.87 63.87 63.87 63.87 63.87 63.87 63.87 63.87 63.87 63.87 63.87 63.87 63.87 63.87 63.87 63.87 63.87 63.87 63.87 63.87 63.87 63.87 63.87 63.87 63.87 63.87 63.87 63.87 63.87 63.87 63.87 63.87 63.87 63.87 63.87 63.87 63.87 63.87 63.87 63.87 63.87 63.87 63.87 63.87 63.87 63.87 63.87 63.87 63.87 63.87 63.87 63.87 63.87 63.87 63.87 63.87 63.87 63.87 63.87 63.87 63.87 63.87 63.87 63.87 63.87 63.87 63.87 63.87 63.87 63.87

勸業債 券 枚

宛 199 8954 $\begin{array}{c} 204 \\ 251 \end{array}$ 9134 95943978 4486 $\begin{array}{c} 4774 \\ 5002 \end{array}$

8372

圓

組共通

味の素本舗 | | 鈴木商店特賣係 東京市京橋區實町一丁目七番地

景品引換所

株徴受礙の程願上げます。 株徴中で御座いますが、中継同

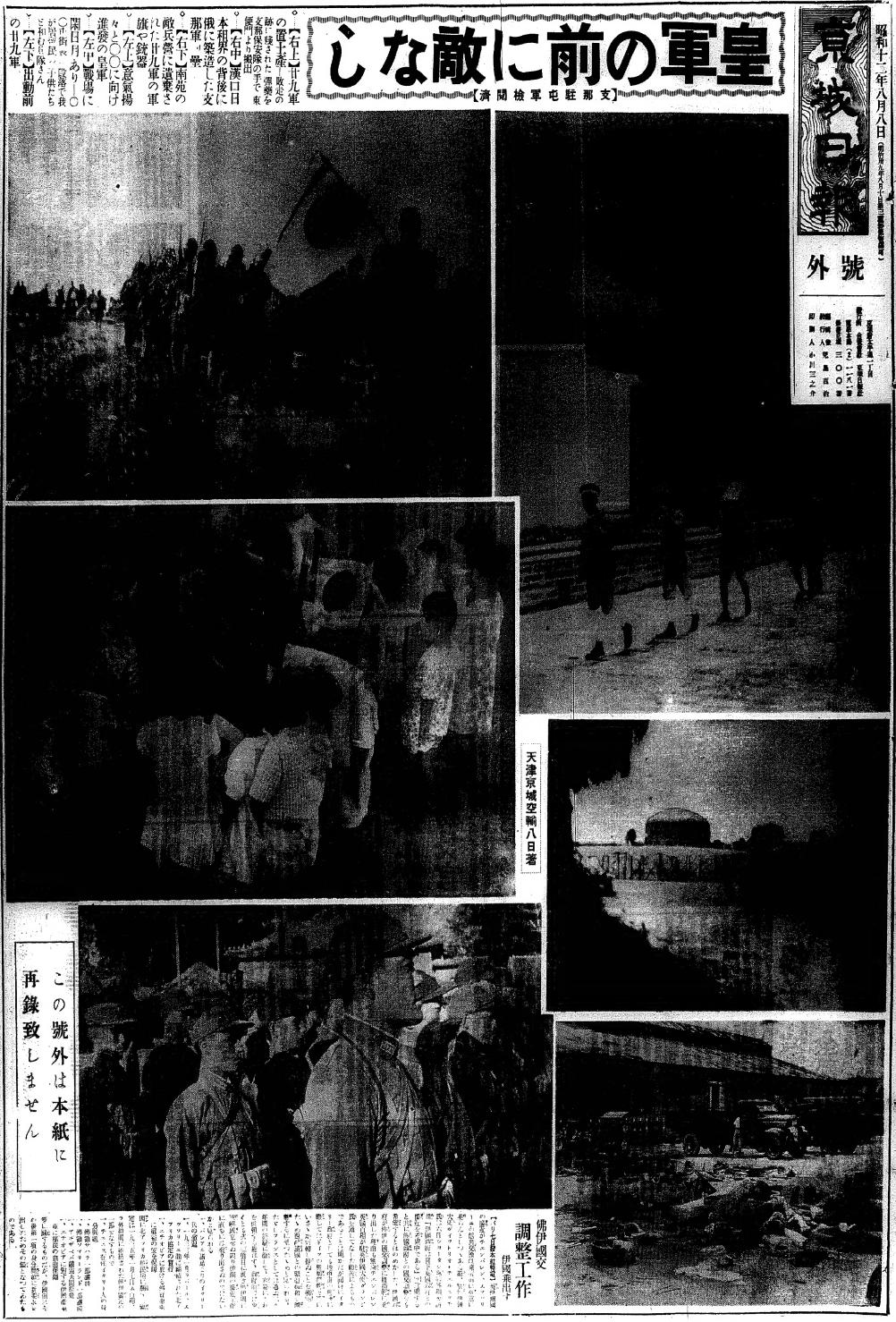
¥ .

記宛も送り願ひます 申上げます。

籤の各位は、抽籤祭 の結果、左の番號が 籤を嚴正公平に執行 三日、特別景品の抽 規定に從ひ、七月十 事を、茲に厚く御禮 御引立を賜り、非常 中罐特賣は、格別の 去る四月二十日より に御住所御氏名並に 常籤致しました、當 な盛況を呈しました 質出しました味の素

アモンババヤ にきび・そばかす

整理中ですから本月半頃には必ず最後し にも漫想以上の多数の農目下日後建行で しみ取・日燒防ぎ



伊國東出す

使館灣局護

粉削を飾りなくま 日五版月相に對了

単上ぐるためし日ロンドンカ

が日本公使解ぶ局に狭父空間 紅南殿下の個行艦につき上日

近と終了せる部が上、更に特別事業と閉院試験群を奉献し帰りなく 天皇陛下に兵器四付行られ動命を ア後午期十一時卅分官中に参内。 中のため廣田外和は人日期に改称 東京河西)近衛育用病気引張り 慰男の題台により漫画一様似 に香魚一折が下島された **廣田外相參內**

.通じ成果、よる公業への不便総和と贈し、京丁俊一時上、総影局では既報の通り秘笈翻訳に

武力の許す範圍内で一般小句物解元、平南、東海中部の各級では輸

に貨物を取扱よことしなった(新

安藤(町)

特孤員

和について

一既報訂「一

きが人内政事件の原利能に安康特の既に安康特の政治と授兵を言うな

目治的統制を警告 各一支那質無確準による關係計版系列 も善連架の自前院電話作用によっ 供、遺館及び遠洋粒路州の行演説線。 直もに固定管理の方法に出ですと

まされつ人あるが、瀬貫省では船、腰においてこれを船が得るので今、泉られてゐる。 將兵慰問のため

概認してもらが、過酸の沿岸関係に一般盟の治動を期待して情勢を **开於四公司。上服出了出上以上地**

兵獣間のため素源院が強化五波道 世間を明き北文事要に活動する時 は八日午後二時より院内に各派後一名の飛行家が含まれてゐる」とあ 「東京也面」楽態院合派において |の聴歌があり、その中には一千餘 人を撃めて養殖軍参加を申出でたイヤの男で被が除長の強行隊四十 る、振つてゐるのはイリノイ州カ

器じたがその後北支の情勢は野に 性を全國民に徹底せしむる方策を国際議を指揮して今次事態の重大国際議を指揮して今次事態の重大国際議を指揮して今次事態の重大 を十三日招集學務部長會議

験さんに上げて下さいると調は、

『之は私達がお小道をためておい

製造と行ふが要を生するに至つよ。 製造と行ふが要を生するに至つよ。 製造取りませ五國を見取財産金と 緊迫化し全支那に及ばんとしてる むる方策を一たものです、領國のために強く氏

名濁流へ 船顛覆し

うち四名は救助さる

岸邦人 叩引揚終る

敗殘の二上

八八日天津發藤井特派員』保定に集れた高め、東の恐にする者は日を逐うて増加してるる。大の逃にする者は日を逐うて増加してるる大の逃にする者は日を逐うて増加してるる。大の逃にする者は日を逐うて増加してるる

軍事協定成立說

フリユツヘル元帥起つか

ちた人那支の海上のへたろう大【右上】 往左往右てつ持を財家の求を地の住安に 議會民留居が我るけ於に州通の慘凄【左上】…。 那刹の撃爆地機根軍那支の〈近界租我平北【下】・・

【八日天津發藤井特派員】 北支事變

、抗日戦のため武器魔薬を出來得る限り於ける抗日人民戦線强化に努力す、蘇聯は中國共産黨を極力支持し中國に

職線が確立された折柄、同時に國府代辨た急速に成立し國共妥協による全支抗日救國 **有延安府より 秘かに蘇聯に入りモスコーに** たに成立したと傳へられる、即ち中國共產黨と蘇聯との間に軍事以定が新 墨中央執行委員會委員長毛澤東は過般狹西 一般以來國民黨と共產黨間に於ける提携は 同防衛の軍事協定が成立した、その主な行したが、スターリンミ會見の結果對日

等であるが、既に毛澤東はモスコーより外一般の凱莉、本年中に趣水すべき新年分 一、外蒙古人民勞農共和國の强化に力を注一支給す

なり記載が「本間 超に」つき日本政府より應案禁止日本政府より應案はと日本教の中国が改善と新聞が書いて原が職者になって最が職者になって最が職者になって最近のでは、アッントンと自同盟、アメリカ共和の党を

米國務長官再言 日本政府から何らの申出

き如何なる 事態にも 禁止に闘する法律は かし外國義男軍参加 現在日支紛争に 闘聯 に接してゐない 貫して 適用されや

と話題を提供して相違いず豊色紙(こで動伝の途についたと話題を提供して相違いず豊色紙(こで動伝の途についた 観道に可振り置つはものだがこととなる男の抗日援難義患重撃根の **腰作者の軍部期間ラッセル・ハー** 【サンフランシスコ七日同盟】故 | 「八日午前九時東京機器つばの数 | 東京監書| 中胚新合樹年刊令国 | 東京監書| 中胚新合樹年刊令国 山岸決勝で築権

でしている。と日もハーンの 関近者が整したとしてリア連合版 の座へるところは「産卵長系架器」 の試合は七月午後ロジグアイル ス状勝山岸監ボビー・リックス ス状勝山岸監ボビー・リックス

の他特殊の者を除く外全部引揚れて、ロ、沙市、南京、蕪湖な七日午後十一時九江簽の日清汽

日午前七時北平路日動型で通州に、内相、安井文相より事態その後の 神殿間 結果、内閣会に迎出十三日午前八州の前州地 等よりの月宮辺に公園場所は至る。 第34年8、八州海し墨西海北崎山を関連、海連 第34年8、八州海し墨西海北崎山を開迎、海連 部通を最内各地方においてもます 一節後の守りを聞くするやう訓

示を行うことになった 輸送制限緩

即も(イ)側(ロ)京遊線下り即も(イ)側(ロ、京元線中河原里(京城方面)を八条中河原里(京元線中河原里(京山方面)をつめては側線を「京山方面)をつめている。

託される

れ以外のものは大龍平常通り受

常町四一三、肺硬附屬小學校児童に可愛い三人姉弟の戲章――京城書 **岡田帽子さん、貢若、妙子さんの**

姉弟で献金

人姉弟は八日午初本此を訪れて

北六人日同盟一定来沿班部州思 眞相を放送